

平成25年6月定例会一般質問表

6. 10、11、12

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
1	2 番 高 橋 一 郎 議 員	<p>1. 健康のまちづくりについて</p> <p>本市の国民健康保険税1世帯あたり18万7千円は県内市町の中で4番目に高く、国民健康保険特別会計医療費の増加は国民健康保険税の値上げに直結していきます。</p> <p>病気の早期発見早期治療をめざす特定健診・がん健診の本市の受診率は、平成24年度の国保事業で34.9%と低い状況です。</p> <p>このような中で、市民も市の財政も元気良くするには、予防施策の充実とりわけ60歳超年代が病気やけがをできるだけしないこと。元気な高齢者をつくる健康のまちづくりを全庁あげてプロジェクトとして取り組むことが求められていると思います。</p> <p>まして、新文化会館の維持管理費用を数千万円捻出しなければならない状況を勘案すれば喫緊の政策課題と言えます。</p> <p>そこで、第5次南陽市総合計画「健康のまちづくり」の以下の2項目について、具現化状況の特徴的なところを市長にお伺いいたします。</p> <p>(1) 健康体力づくり都市宣言の発展化</p> <p>① スポーツ施設などと連携した市民の年代に応じた生涯健康スポーツプログラムの開発など健康づくりの促進</p> <p>② 公民館での健康軽スポーツ活動の支援</p> <p>(2) 温泉を活かした健康増進プログラム</p> <p>① 医療と連携し温泉を活かした健康保養基地</p> <p>② 地域の特産品を活かした健康栄養食の開発による食育の推進</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
1	2 番 高 橋 一 郎 議 員	<p>③ 介護、保健、医療を統合した福祉サービスビジネスの構築</p> <p>④ 市民が親しみやすい栄養・運動プログラムの提供</p> <p>(3) 提案事項について 下記により提案しますが、市長の見解をお伺いいたします。</p> <p>○健康体力づくり都市宣言の発展化</p> <p>① 健康づくりのキーワードは「3つの養」休養、栄養、動養と言われ病気やけがの予防には食事と運動と温泉活用が大事です。とりわけ60歳超～70歳超の健康づくりに市民体育館やハイジアパークの利活用の向上も合わせた方策が必要です。 特に、移動手段がなくて自ら行けない市民を送迎するために民間活力を利用する。 例えば、市や体育協会などが利用者の送迎などを会員制（仮称）健康生活クラブに②のトレーニングや③の事業等を委託事業として実施する。会員の送迎は無料にして、柔軟かつ機敏に送迎する。</p> <p>② 運動神経を刺激し、認知症にならないためのコーディネーショントレーニングを指導できるNPO等の民間の力を活用する。</p> <p>○温泉を活かした健康増進プログラム</p> <p>③ （仮称）温泉健康マイスター制度を市単独事業として創設して、例えば症状に合わせた温泉の入り方などを温泉客や健康生活クラブ会員などにアドバイスする。 人財の育成は健康シニアクラブが県と市と連携して温泉健康マイスター資格制度をつくり、温泉旅館、観光事業者のスタッフを中心に育成と普及を図る。 その際、民間保険事業者とタイアップして病気やけがを防止予防する健康教室等も兼ねて協同で開催し推進を図る。</p>	

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
2	3 番 船 山 利 美 議 員	<p>1. 公表データから想定される深刻な人口減少への対策について</p> <p>(1) 国立社会保障・人口問題研究所が4月に発表した2040年の本県の推計人口は28.5%減少するとのデータを公表しており、本市でも約10,000人が減少する推計になっている。本県の吉村知事は2期目の県政の最重要課題として、人口減少対策を掲げ任期4年で出来る合計特殊出生率の目標値を1.70として、全力で取り組む姿勢を示した。</p> <p>① 5次総で目標人口を平成32年に32,000人と設定し、年間出生数を270人から300人に増加させるとしている。更に、定住人口増加指標は平成27年の推計値を32,449人から約650人増加し、33,100人を目指すとしているが、今回公表データは前回推計値より500人余り減少スピードが速まり31,937人となった。また、出生数も減少傾向にあり、深刻な状況が改善されているとは考えにくい。今後の目標達成に向けた年次計画や具体的施策があるのか。また、南陽市の合計特殊出生率は1.58だが県と歩調を合わせ、各市町村も一体となって1.70の目標値を掲げ年次計画を持って状況に対処する必要があると思うが見解をお伺いする。</p> <p>② 人口減少の最大の要因は少子化で、女性の晩婚化や非婚化が増加し、生涯未婚率が20%となる見方があり、5人に1人が生涯未婚となる事態もありうる。本市でも結婚推進係を置いて行政として対処しているが、現在までの実績や効果について、また、目標件数などを掲げて取り組むのも効果的と考えるが、目標などを持っているのかお伺いする。</p> <p>③ 施政方針で定住促進策として、子育て応援定住交付金・持家住宅助成金に加えて子育て応援団地の整備、更に小学3年生までの実質医療費無料化の検討と準備に取り掛かるとしている。市長は「医療にかかる子どもは統計的に小学3年生ぐらいまでが一番多いのでしっかり考える」として決断されたと推察するが、実施が実現</p>	市長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、(1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
2	3 番 船 山 利 美 議 員	<p>すれば次は少ない年代になるので、段階的に義務教育までの無償化は比較的容易になると考えるがどうか、また、子育て応援団地整備の場所・規模・プランなどがあればお伺いする。</p> <p>④ 平成27年度オープンを目指した「新文化会館」建設は、全国初の木造耐火建築物として各方面から注目を集め、南山形圏域及び、置賜地域の広域交流拠点の位置付けや地域経済活性化の効果に対する期待も高まっており、本市の一大プロジェクトであるため、いろんな相乗効果を期待するが、芸術文化の拠点、地域経済活性は定住促進の相乗的な効果として期待できるのかお伺いする。</p> <p>2. 生活保護法改正の影響について</p> <p>(1) 抜本的な改革として行われた今回の生活保護法の改正は、不正や浪費受給者対策、及び国や自治体の財政を圧迫する社会保障費の見直しの一環として「生活扶助費」の減額など、そのほかにも受給者には厳しい項目があるが、平成26年4月から施行される。南陽市も受給者が増加傾向にあり、改正の影響も懸念されるので何点かお伺いする。</p> <p>① 改正案では地方自治体の調査権限強化や罰則の強化なども盛り込まれているが、本市での不正受給や浪費受給の実態を調査や把握しているのかお伺いする。</p> <p>② 申請手続きのハードルが上がるとされており、本人が資産や収入などを記した書類の提出をしなければならないが、高齢などで自筆困難な生活困窮の申請者が申請を受けられないなどの懸念はないかお伺いする。</p> <p>③ 生活保護にいたる前の生活が苦しい人たちへの就労・自立支援や仕事と住まいを失った方への家賃の補助、また、生活保護から抜けた時に支給する「就労自立給付金」などが新設され自治体に相談窓口を設置するとしている。受給かそうでないかギリギリの方は、この制度の対応になるわけで、これにより本市ではどの程度の受給者の減少見込んでいるか、また、自立支援指導のための部署の新設など考えているのかお伺いする。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
3	11 番 板 垣 致 江 子 議 員	<p>1. 産業のまちづくり</p> <p>(1) 観光について 第5次南陽市総合計画も3年目に入り「確かな未来へ、夢はぐくむまち南陽」の実現に向け一步一步、歩みを進めている事を感じているところではありますが、さらに、「おもしろい南陽、行ってみたい南陽、住んでみたい南陽」とするためには、多くの課題があり、市民の協力はもちろんの事、行政の一段の努力とアイデアが必要とされる時代と思われまます。 特に観光のまちにとっては、お出で頂いた方々みんなが笑顔で帰っていただくためのおもてなしのあり方が最大の課題であると思ひます。桜まつりから始まり双松公園のバラまつりなど6月は多くのイベントが開催されますが、観光について次の事をお伺ひします。</p> <p>① 例年12万人もの観光客で賑わう赤湯温泉桜まつりですが、今年は地元の人も「こんな烏帽子山は見た事がない」と言う程、桜の花がまばらでした。観光への影響はどうだったか、花が咲かなかった要因と今後の対策は。</p> <p>② 来年開催される「山形デスティネーションキャンペーン」のプレイベントが赤湯駅を中心に様々行なわれるようですが、今後南陽市全体を結びつけるストーリー性のある企画に期待するが状況は。</p> <p>③ 近年、障害者や高齢者の旅行ニーズが増え、観光地のバリアフリー化がより求められています。市内観光地や宿泊施設などのバリアフリーの状況は。</p> <p>④ 市民から南陽にも道の駅のようなものと望まれています。30年開通予定の東北中央自動車道からの誘客も含め、市としてのお考えは。</p> <p>(2) 景観保全、環境整備について</p> <p>① 十分一山からの景観は、観光面でも大切な「南陽の宝」として、守り、活用していかなければなりません。今年度からの十分一山及び白竜湖周辺の整備の取り組み状況は。</p> <p>② 里山の再生や森林保全などで取り組んでいる、市内6カ所の企業の森づくりの今後の方向性は。</p>	市長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
5	9 番 川 合 猛 議 員	<p>1. 南陽の菊まつりについて</p> <p>(1) 前回100回目を迎え全日本菊花連盟全国大会も同時に開催され、県内外より多くのお客様が来られたと思うが、何故入場者が前回より900名近くも減ったのか、又市民の入場者は何名位来られたのかお伺いします。</p> <p>(2) 今回は101回目という大きな区切りの新しいスタートとなる訳ですが、100年の歴史をふまえ、どのような内容で実施されるのかお伺いします。</p> <p>2. 南陽市の教育について</p> <p>(1) 食物アレルギーによる事故が起きています。市内小中学校におけるアレルギー症の児童・生徒の人数は、又食物に対し多種多様のケースが有り、一人一人の対応となるとは思いますが、どのような対策をとられているのかお伺いします。</p> <p>(2) 平成24年度一年間での不登校、長期欠席の児童・生徒の人数をお伺いします。</p> <p>(3) 南陽市教育相談室についてですが、24年度より週5日間の開設とし、人員体制を強化して運営されたと思いますが、どのような内容で何件の来室相談、電話相談が有りましたか。又何名の早期学校復帰や解決につながりましたかお伺いします。</p> <p>(4) 複式学級についてですが、中川小学校の場合今年度より2年と3年、4年と5年がそれぞれ8名の16名と成り、2つの複式学級の編成と成りました。市内の学校で他に何名の編成でいくつの複式学級が有りますか。単式学級との格差を無くすためどのような対策をとられているのかお伺いします。</p>	<p>市 長 関 係 課 長</p> <p>市 長 教 育 長 関 係 課 長</p>

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
6	15番 佐藤明議員	<p>1. 安倍政権の経済対策（「アベノミクス」）について</p> <p>(1) 先週半ばから始まった株価の下落は、乱高下は収まりつつあるようにみえるものの、依然不安定さを抜け出せていません。東京株式市場の日経平均株価は、この一週間で1,000円近く下がりました。日本とともに株価が下落したニューヨーク市場では高値更新の動きも出ているだけに、日本の株価下落は異常といわざるをえません。実体経済の立て直しはやらないで、金融政策中心に投機とバブルをあおり立ててきた安倍政権の危険な経済対策（「アベノミクス」）の見直し中止が求められておりますが、塩田市長のご見解をお伺いいたします。</p> <p>(2) 働く人の賃金の低下と労働条件の悪化に歯止めがかかりません。昨年の勤労者の平均賃金は、1990年以降で最低となり、ピーク時の1997年より年収で約70万円も減っております。非正規雇用が、労働者の3人に1人、若者と女性では2人に1人にまで広がり、年収200万円にも満たない労働者が1,000万人を超えており、低賃金で不安定な働き方の非正規雇用の拡大は、正規の労働者の賃金と労働条件の低下、長時間労働に拍車をかけています。この10年余の間に、平均でも月給の2か月分程度の収入がなくなったのですから、ローンや教育費をはじめ、労働者とその家族のくらしの悪化は深刻であり、賃上げと安定した雇用への願いは、いよいよ切実であります。同時に、賃下げと雇用不安が広がり続ける現状は、世界の流れからみても異状さを際立たせております。市の雇用対策についても3月議会の施政方針でも市長は、「意欲ある後継者の育成と雇用の確保」については、県及び高島町、川西町との3市町で取り組む地域雇用創造推進事業（パッケージ事業）が最終年を迎えますので、企業面談会や講習会など雇用確保の取り組みを行いながら、より実践的な就労支援事業を考えている。また、農業分野では、経営改善による雇用創出や新規就農者の確保について、国県の制度を活用しながら支援を行ってまいりますと所信を格調高く述べられております。</p> <p>具体的にはどのように取り組まれるのかご見解をお伺いいたします。</p>	市長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
6	15 番 佐藤 明 議員	<p>(3) 今後の雇用創出事業と見通しはどのように考えておられるか。</p> <p>(4) 失業者の状況と今後の対策、見通しは。</p> <p>2. 東北中央自動車道及び梨郷道路について</p> <p>(1) 現在の進捗状況は。</p> <p>(2) 「道の駅」の設置の考えは。</p> <p>(3) 都市計画道路赤湯停車場線の今後の見通しは。</p>	市長
7	5 番 白鳥 雅 巳 議員	<p>1. AED訓練等に関する教育現場での取り組みについて</p> <p>(1) 本市の小・中学校における救命講習及び一時救命処置教育は、教職員も含めて実施されているのか伺う。</p> <p>(2) 消防署が広域化され、一般市民の救命講習を受講する機会が失われた感があるが、現在受講者状況はどうなっているか伺う。</p> <p>2. がん対策の取り組みについて</p> <p>(1) 本市において、各がん検診率は、当初の目標とする目標値に対し、どの様な水準になっているか伺う。</p> <p>(2) 今後、どの様に受診率を向上させるのか、その取り組みを伺う。</p> <p>(3) がん教育の必要性について、本市の取り組み、計画はあるか伺う。</p> <p>(4) 胃がん検査に有効なABC検診の取り組みや周知及び受診費用への補助について伺う。</p>	市長 教育長 関係課長 市長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
7	5 番 白 鳥 雅 巳 議 員	<p>3. 甚大な災害発生後の支援について</p> <p>(1) 各地区などで自主防災組織が結成されているが、要援護者名簿の作成や個別安否確認体制の強化に向けての本市の取り組みなどについて伺う。</p> <p>(2) 災害発生後の医療支援について、公立置賜総合病院や他市町の医療機関との連携について伺う。</p> <p>(3) 医師や看護師の不足などが問題になっているが、本市の現状はどうか伺う。</p> <p>(4) 後発医薬品の普及状況について伺う。</p>	市 長 関 係 課 長